



一般社団法人名古屋工業会会誌

こきそ

2022 5-6 月号

【学位記授与式・入学式】

2021年度学位記授与式
2022年度入学式

【OB・OGトップセミナー】

技術者、技術士のわたし

【学生コーナー】

還暦を過ぎての学びなおし

【新聞記事コーナー】

中日新聞

【ホットライン】

永年勤続退職者に感謝状授与しました
挑戦的課外活動支援団体の紹介

【情報ネットワーク】

支部報告・会員ニュース

No.507

発行 一般社団法人名古屋工業会
(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0061 名古屋市昭和区御器所町字木市29番
国立大学法人名古屋工業大学 校友会館内

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>



「会費の自動引き落とし」をご利用の会員様へ

一般社団法人 名古屋工業会
理事長 加川 純一

名古屋工業会会費の口座振替のお知らせ

会員の皆様におかれましてはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

会費納入につきましては、ご協力いただき感謝いたしております。

名古屋工業会は、母校の発展と会員相互の交流・啓発を図り、卒業生が実り多い人生を過ごすことができますよう、諸活動を活発に行っています。

これも会員各位の御支援があるからこそ、と感謝いたしております。

早速でございますが、令和4年度の会費納入を、お願い申し上げます。

終身会員の取り扱いにつきましては下記の通りでございます。

工業会の活動はこの会費収入に依存しておりますのでよろしくお願いいたします。

※自動口座振替ご利用の方は、令和4年7月6日(水)にご指定の銀行より、
金5,000円也を引き落としさせていただきます。

記

【終身会費について】※平成26年4月1日より会費改定しております。

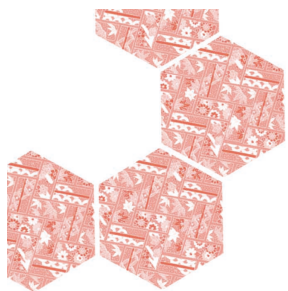
卒業後10年未満の方	80,000円
卒業後10年以上の方	60,000円
卒業後20年以上の方	50,000円
卒業後30年以上の方	40,000円
卒業後40年以上の方	30,000円
卒業後50年以上の方	20,000円
卒業後60年以上の方	10,000円

※「会費の郵便振替」をご利用の会員様へは次号月に、振込用紙を発送致します。

表紙写真説明

「鶴舞公園の紫陽花」

撮影者 名古屋工業会事務局



2021年度 学位記授与式

2021年度学位記授与式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため学部と大学院を分け、2022年3月26日の午前、午後に名古屋市公会堂で執り行われました。式典は、最初に学位記が授与され、続いて学長式次、代表者による答辞が述べられました。

昨年に続き、来賓の列席、父母等の参加もなく、名工大交響楽団の演奏、合唱団の合唱

もありませんでした。

今回は、感染対策のため公会堂の座席を一つ置きに座ることとなったものの、卒業生、修了生それぞれ全員が一堂に会することができました。

なお、来賓の登壇ができなかったため、名古屋工業会は、理事長メッセージを学内電子掲示版を介して送りました。



女子卒業生



2021年度 学位記授与式 式辞

国立大学法人名古屋工業大学

学長 木下 隆利 (W50)

学位記授与、誠にありがとうございます。本学の教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。また、これまで皆さんを励まし、支えてこられた保護者・関係者の皆様にも心からお慶び申し上げます。

この2年間、新型コロナウイルス感染症に起因する大きな制約を受けながらも、皆さんは、卒業認定に必要な要件を全て満たし、無事、今日の日を迎えられました。これまで経験したことのない過酷な環境下での皆さんの頑張りに最大の敬意を表します。

学部を卒業し、社会に旅立つ皆さんは、本学において工学のそれぞれの分野における知識や考え方や、これから社会で生き抜く強みを身に着けることができました。4月からは自ら成長し続ける人生がスタートします。様々な出会いが待ち構えています。例えば、芸術やスポーツ等、本業から少し離れたジャンルにも積極的に出会い、日常的に視野を広げ続けること。また目標にできる人や憧れの人との出会いもとても重要になります。このように、各自に固有の経験を重ね、本学で獲得した工学の強みを独自の強みへと進化させ続けて頂きたいと思います。

一方、大学院博士前期課程に進学される皆さんは、各自の研究テーマの下、新たな課題の洗い出しや課題解決を重ね、「心で工学」の視点を踏まえ、独創的な修士論文の完成を目指してください。

さて、我々は、今、大きな変化に曝されています。例えば、地球のどこかで生じた課題が明日は日本の課題になる時代です。つまりこれら日ごとに累積する地球全体の課題解決のためとして、多種多様な変化が求められているのです。変化の時代とも言われますが、その都度、変化や改革ありきではなく、守るべきもの、変えてはいけない本質は何か?を自分に問いかけ、見極めて頂きたいと思います。守るべき本質は何か?という問いと、変化はこれで良いのか?という問いかけは常に連動していなければなりません。本質としての、例えば、心の豊かさや幸福感等を守るため、或いは取り戻すための変化を世界は受け入れるからです。

分かりやすい例がSDGsです。日本語には「持続可能な開発目標」と訳され、「持続可能」と「開発目標」の2つパートに分れています。開発目標の方は、再生可能エネルギーへの切り替えなど17の目標が設定され、世界規模での変化が求められています。ここで重要なのは前者、つまり「持続可能」の部分です。持続可能な社会、持続可能な地球環境、人類の幸福の持続など、守るべき本質の部分です。つまりSDGsは、揺らいでしまった本質を取り戻すために変化を求めているのです。18世紀半ばに起こった産業

革命というエネルギーの革命は富と繁栄をもたらしながらも、2世紀半を経て、次の世代のためには、エネルギーを始めとする地球資源の利活用の在り方はこれで良いのか?とSDGsが問いかけ始めているのです。

この冬、偶然見た番組で、世界的ピアノメーカーの製造工場に勤務する一人の技術者を紹介していました。このメーカーが世に送り出す全てのピアノの音は、この技術者一人に任されているそうです。取材時も、音に違和感があるとして、ピアノ線を叩くハンマーのフェルトを針で突きながら、音を柔らかくする作業をしていました。多くの人から「耳が良くなければ駄目でしょう?」と良く尋ねられますが、そうではなく、もっと大切なのは、いつも自分に「これで良いのか?」と問い続ける事だと言うのです。世界的ピアニストからも認められ、世界中の人々の心を打つ音を守り抜いていたのは、「この音で良いのか?」と常に自分に問い続ける技術者の姿勢だったのです。

本学で身に着けた工学の力をベースとし、独自の経験を重ねて更なる強みへと進化させ続けること。激変社会だからこそ、守るべき本質は守られているか?自ら生み出すアイデアや技術がもたらす変化はこれで良いのか?と常に自分に問い続けること。この姿勢が「心で工学」であり、今を大切に、今を一生懸命生きることであると考えます。

学位記授与に際し、次世代のために未来を拓く一人の人間として、そして「工学の専門家」として、目指すべき一つの姿を提案させて頂きました。

最後になりますが、毎日毎日、国際報道で、テクノロジーが悪用されている現状を見るにつけ、工学とは心ですべき学問ではないかとの思いがますます強まっています。

卒業生の皆さん、「心で工学」を合言葉に、平和で心豊かな未来づくりに大いに貢献してください。本日は誠にありがとうございます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、学位記授与式は、学部と大学院に分けて開催されました。本誌には、学部学位記授与式の学長式次を掲載しました。



卒業生の皆さんに

一般社団法人名古屋工業会
理事長 加川 純一 (K49)

卒業おめでとうございます。ご家族そして関係者の皆様の感激とお喜びは如何ばかりかと感じる次第です。オミクロン株の蔓延でまだまだコロナ禍は収束せず、今年の卒業式にも来賓として名古屋工業会からの参列ができません。そこで皆さんに工業会を代表してメッセージを送り、卒業生の皆さんの今後のご活躍へのエールとお願いを伝えることにします。

今年も特に優秀な皆様に名古屋工業会賞を贈呈させていただきました。受賞された方には後ほど記念品を送付させていただきます。おめでとうございます。受賞された方は勿論、卒業された皆様がこれから進まれるそれぞれの分野でご活躍されることを期待しております。頑張ってください。4年生の多くの方は進学されるでしょうし、大学院修了の方を含め、多くの方が新しい一步を踏み出されます。この人生の区切りにあたり、先輩として少しお話をしたいと思います。

昨年の3月には年内中にワクチン接種も進み通常の学校生活が戻るだろうと思っておりましたが、コロナもどんどん変異を繰り返しています。昨夏には何とか延期されたオリンピックを開催し、その後収まったかに見えた状況も、年明けに再拡大が続いています。皆さんも学生生活を十分エンジョイすることもできず、ストレスの溜まった日々が続いたのではないのでしょうか。

一方でここ数年産業界では大きな変革のうねりが始まっています。一つはSDGsです。2030年までの17項目の持続可能な開発目標を定め、人類が環境を守り世界を平等に豊かにすることを目標としています。また、DXや脱炭素化も企業にとっては大きなテーマです。新しい技術革新が日進月歩で進んでいきます。自分の知識が陳腐化しないように世の中の変革や新技術情報を常にリサーチしておく必要があります。

コロナ禍で『働き方』はかなり変わったのではないのでしょうか。私も殆どの会議がリモート開催になったり、在宅勤務が増えたり、変わってきています。営業活動や学会活動もリモートが主となり対面での会話がしにくくなっています。普通なら新入社員は先輩諸氏から直接の指導を受け(OJT)



仕事を覚えるのですが、OJTの機会が少ないわけですからかなりストレスが溜まります。その際特に同窓の先輩を頼ることは有効な解決方法になるかもしれません。全学同窓会組織の名古屋工業会での横の繋がりを有効に使っていただければと思います。

前述したように技術の変化が、我々の時代に比べると数倍も早い。それについていくには『学ぶ』習慣を怠らないことが必要です。今までの年功報酬からジョブ型報酬に切り替わり、リスクリテラシーやリカレント教育などで「個の付加価値」を上げることを要求されます。企業もそのためには投資を惜しまないでしょう。また日本の生産性の低さは労働流動性が低いことが一つの要因と言われており、終身雇用も見直しがかかります。そのためにも「個のスキル」を上げることが、大事だと思います。たまには母校を訪れ最先端の知識に触れたり、一緒に学んだ同窓生と語ることも刺激になります。皆さんが同窓の絆を育むのに工業会が役に立てれば幸いです。

いずれにしてもこれからの皆さんのご活躍を期待しておりますし、それこそが母校、そして同窓会の誇りになります。頑張ってください。

最後をお願いします。名古屋工業会は全国に22支部あります。また、工業会ホームページに支部活動含め、活動状況を掲載しております。4年～6年通った母校への帰属意識をいつまでも持ち続け、名古屋工業大学への支援、全学同窓会の名古屋工業会活動に理解をいただき、協力いただければ幸いです。よろしくお願いします。



2022年度 入学式

2022年度入学式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2022年4月6日に学部と大学院を分けて、名古屋市公会堂で執り行われました。最初に学長の入学許可宣言があり、続いて入学者代表による宣誓、学長式次が述べられました。

学位記授与式と同様に、来賓の列席、父母等の参加もなく、名工大交響楽団の演奏、合唱団の合唱もありませんでした。

来賓の登壇ができなかったため、名古屋工業会は、理事長メッセージを学内電子掲示板を介して送りました。



入学者代表による宣誓

2022年度 学部入学式式辞

国立大学法人名古屋工業大学
学長 木下 隆利 (W50)

ご入学、誠にありがとうございます。名古屋工業大学の教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。また、これまで皆さんを支えてこられた保護者・関係者の皆様方にも心からお慶び申し上げます。

この2年間、新型コロナウイルス感染症に起因する様々な制限や閉塞感などと闘いながら勉学に励み、受験を勝ち抜いてこられました。心から敬意を表します。

さて、新入生の皆さんは、高校までの授業にはない「工学」というジャンルに身を投じ、期待とともに不安を感じている方も多いかと思います。工学は数学、物理や化学などのサイエンス（科学）に基づいて「機能」を創出する学問です。分かりやすく言うと、人や社会に役立つものを生み出す学問ということになります。皆さんは、今、どのような「工学の専門家」になりたいと考えていますか？

名工大は創設以来、1世紀を越えて中京地域産業界とともに発展し、工学のあらゆる分野を網羅する我が国屈指の工業大学へと成長致しました。ロボットやAI、未来通信エレクトロニクス、SDGsに定める新たなエネルギーシステム、デザインや造形、魅力ある都市づくり、社会システムのマネジメント、イノベーションに必須の新素材の開発や生命機能の解明・再生等々、本学には皆さんを魅了する工学分野が満載です。

一方、国立大学は教育・研究・社会貢献等の観点で定期的に国から評価を受けています。その結果、近年、本学は国立大学86校中10位前後の評価を獲得しており、教育・研究レベルの高さが裏付けられています。つまり名工大という大学には、工学分野の豊富さに加え、質の高い教育・研究体制が整っているということです。

一方、皆さんを取り巻く社会はどうなっているのでしょうか？デジタル社会、ビッグデータが支配する社会など、人類がこれまで経験したことがない、従来の価値観が通用しない社会を迎えようとしているのです。では、この社会の激変を健全かつ心の豊かさが保証される方向へと導くため、工学にはいったい何ができるのでしょうか？

その一つのアプローチとして、本学では「工学と

は心ですべき学問」と位置づけ、「心で工学」を合言葉に「ものづくり・ひとづくり・未来づくり」を推進しています。

さて、「心で工学」を展開する上で、不可欠な力の一つは「客観力」だと考えます。

そこで、自分を見つめる空間づくりとして、本学を芸術溢れるキャンパスにしようという計画が、愛知県立芸術大学のご協力の下、進んでいます。昨年からは準備を始め、先週4月1日、大学間連携協定を締結し、本格的にスタート致しました。2年前に訪れた米国の大学のキャンパスに衝撃を受けたのが発端です。キャンパスにはゴルフ場、複数のコンサートホールや美術館、ロダンの彫刻を配置した広場やパプアニューギニアの原住民の生活を再現した森など、学生・教職員が大学生活の中で、日常的に自分を見つめ、心を豊かにする環境が揃っていたのです。引率下だった教授も、大学での教育・研究には、キャンパスにおけるこのような仕掛けがとても重要だと強調されていました。帰国後、県芸大の戸山学長にアートのキャンパス構想をお話したところ、快くご理解下さり、名工大にアートの風を送りましょうとのご返事を頂くことができました。現在、作品の展示や23号館の壁画などを作成中です。皆さんも是非見てください。音楽活動なども含め、毎年少しずつ芸術空間を拡張して参ります。

こうしたキャンパスライフにおいて、新たな友達とともに日常的に芸術に大いに感動して頂ければと思います。この作品の何処に感動したのか？自分は何故感動したのか？など、作品との対話を通じて自己を見つめることもできるでしょう。このように、物事を客観的に捉える力の基盤を磨き上げて頂ければと思います。激変する社会において、技術者・研究者としての進むべき道を決断する上で、拠り所になるのも「客観力」だからです。

新入生の皆さん！

「心で工学」を合言葉に、基礎から実践へと工学の山を一步ずつ登り、そのテッペンとしての「社会から信頼される工学の専門家」を極めてください。

本日は誠にありがとうございます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、入学式は、学部と大学院に分けて開催されました。そのうち学部入学式についての式辞です。

〈新入学生の皆さんへのメッセージ〉

名古屋工業大学入学・大学院進学され誠にめでとうございます。心からお祝い申し上げます。ご家族の皆さん、そして関係者の皆様のお喜びは如何ばかりかと拝察します。

この2年間、新型コロナウイルスの感染拡大で以前のような新入生全員が集まっての入学式ができませんでした。我々全学同窓会組織であります名古屋工業会として皆さんの前でお祝いを申し上げられないのはとても残念でした。今回も年明けからのオミクロン株の感染拡大で参列できなくなり、紙面にて皆さんにメッセージを送りたいと思います。

さて、当名古屋工業会の活動について簡単に紹介させて下さい。名古屋工業会は、名古屋工業大学の前進である名古屋高等工業学校が創立した明治38年(1905年)の10年後、大正4年(1915年)に同窓会組織として設立され、現在に至っており、100年以上の歴史を刻んで活動し続けています。工業会の活動は「輝く母校と同窓の絆を願って」をスローガンに『大学支援』と『会員相互の親睦』を事業の柱としています。

『大学支援』では、大学の教育研究活動のみならず、グローバルな人材育成のため海外留学支援や外国人留学生支援を行っております。コロナ禍の為、留学も難しい状況が続いておりますが、留学ができるようになれば、学生時代にいろいろな国の人と語り、考え方や文化の違いに接することは皆さんの将来にとっていい経験です。また挑戦的な課外活動団体に対してもできる限り支援をしています。大学の4年間は皆さんにとって一番いい青春時代です。課外活動を始め授業以外の活動を通してリーダーシップやコミュニケーション能力を養って下さい。また就職についてもOB・OGトップセミナー開催などを通じて、皆さんのお手伝いをしていきたいと思っています。

一方『会員相互の親睦』活動では、全国22支部での活動を支援しています。皆さんが卒業後全国各地で活躍していただく際に、それぞれの赴任地できつと各支部の先輩方が応援してくれます。是非、名古屋工業会に入会頂き、全国各地で様々な分野で活躍されている先輩方との交流を深め、工業会の活動の輪を拡げ、そして母校の支援をお願いしたいと思います。

皆さんはこれから大事な4年または2年の間、この名古屋工業大学で勉学に励まれるわけですが、その際の心構えについて、同窓の先輩として皆さんに一言お話をさせてください。

先ず学士課程入学の皆さんに。今は選挙権が18

歳から与えられ、大学生の皆さんは成人として社会からみられるわけですので、大人としての責任と自覚をもって勉学に励んでいただきたい。自ら考え、目標を持ち行動する人間を社会は必要としています。学ぶことに貪欲になる習慣を身につければ、皆さんの将来はきっとうまくいきます。そして大学で得た人の繋がりは、それをフォローしてくれます。

次に大学院に進学された皆さん。これからさらに学問を追及するわけですが、その目的をしっかりと理解し、将来にいかにか社会貢献できるかを考えてみてください。なかなかその答えは出ないかもしれませんが、2年後に多くの皆さんは就職されるでしょう。自ら考え、将来に向かう逞しさを持った人材を、会社は欲しています。日本の産業は地盤沈下が著しく、労働生産性も世界の低位に甘んじているといわれて久しいです。5GやCASEといった新しい技術への挑戦、そして持続可能な社会を作るためには、多くの技術革新を必要としていますし、とりわけ脱炭素をはじめとした地球温暖化を改善する技術開発は最重要です。

一方で、企業が定年まで雇用を保障する時代は終わり、企業の存続自体も危うい変革の大きな波が襲ってきています。また、定年年齢はどんどん延長されていますが、人生を豊かに末永く生き抜くための武器としては、学生時代に学ぶ学力のみならず、社会に出てからもリスクリリングなどによって、常に「個の能力」をブラッシュアップすることが大事です。そんな「学びの習慣」そして「ひらめき力」、「未知に立ち向かう志」を養ってください。イノベーションは「勇気」と「ひらめき」の掛け算だといわれます。「勇気」はコミュニケーション能力や経験・自信が大事ですし、何より行動力と熱意、すなわち志が必要です。「ひらめき」に必要なのは偶然の出会いを逃さない能力ですが、その時の常識や権威者の言葉をあまり鵜呑みにせず、いろいろな知識・情報を背景に自分なりに考えることです。

先にも述べましたが、将来にわたっての友人や人との繋がりを作ることは、人生を豊かにすることでしょう。是非、全学同窓会組織の名古屋工業会に入会いただき、先輩達との交流の場を活用してください。異業種で活躍される方々との交流も可能です。

最後になりました。健康第一で勉学に励まれ、将来のご活躍を期待しています。

(未加入の方の受付は名古屋工業会の事務所(校内西南角の校友会館2階)でできます。)

令和4年4月

名古屋工業会 理事長 加川 純一

OB・OGトップセミナー

(学生就職支援事業)

2021年11月24日に開催したOB・OGトップセミナーの講演報告を、前号に引き続き掲載します。今回は、株式会社環境技研コンサルタント技術部技師長 石田佳子(W52)氏のご講演です。

多数のスライドを用いて講演されました。紙面の都合上、割愛させていただいております。

【司会(大鹿理事)】石田様のご紹介を私のほうからさせていただきます。

石田様は、1977年に繊維高分子工学科をご卒業され、日本技術士会衛生工学部会の副部長と男女共同参画推進委員会委員長などの要職を務めておられます。ご専門は廃棄物管理、環境影響評価などです。また、名工大のOG会であります鶴桜会の監事もされておられます。

石田様と初めてお会いしたのが今年の鶴桜会のオンライン総会でしたが、トップセミナーの講師にふさわしい方とお見受けいたしました。

それでは、ご準備が整いましたら石田様、よろしく願いいたします。

石田佳子氏ご講演

技術者、技術士のわたし

ただいまご紹介にあずかりました石田でございます。

このような機会があるということをつい最近まで予想だにしておりませんでした。機会を与えていただきましてありがとうございます。

私は、「技術者、技術士のわたし」としてお話しいたします。

本日の内容でございますが、建設コンサルタントで働く、技術者として、技術士として、多様性の中でという形になっております。

建設コンサルタントで働くこと

まず一番上の建設コンサルタントで働くとい



講師：石田佳子氏

うところですよ。卒業後この仕事に就くまでブランクがありました。私の学生時代は半世紀近く前です。企業は、今のように女子学生、特に工学系を受け入れてくださる雰囲気ではありませんでした。時代がそういう時代だったということです。

私自身、積極的な求職活動をせず親元にいたという状況でしたが、高分子化学を学んだこともあって環境への関心はあり、卒業してすぐ何か資格を、と思い公害防止管理者の資格を取りました。物理、数学は苦手でしたが、公害防止管理者は騒音分野で取りました。

1985年に筑波で開催された、「つくば科学万博」(EXPO'85)、この中に御存じの方もいらっしゃるかと思います。そこで博覧会協会の職員として関わっておりました。その後、縁あって建設コンサルタントに就職した次第です。

1. 建設コンサルタントで働く

「建設コンサルタントって何?」という学生さんの質問が多々あります。これは建設コンサルタント協会が出しているパンフレットの一部分です。

まず建設コンサルタントとは、国や地方自治法などの事業者が進める社会資本整備の事業に向けて、技術コンサルティングサービスを行う業種です。役割といたしましては、社会資本整備に関する調査計画、設計、維持点検等に加え、企画立案ですとか、工事の際の事業者支援の役割を担っています。公共事業において、技術サー

ビスを提供する仕事と言えます。ですからクライアントは国や自治体です。行政と施工者の間の中間に位置しておりますので、中立性は要求されます。

次に、私の職場です。私は上下水道・廃棄物（環境）を専門とする建設コンサルタントに勤務しております。こちらは会社のホームページの記載で、「地域に最適な廃棄物循環型社会システムの提供」をうたっております。これは私が籍を置いている環境部のほうの商業文で、もう少し分解して説明しますと、廃棄物処理施設整備に関する業務、それから環境保全に関する業務に分かれます。

廃棄物処理施設整備は、ごみ焼却施設ですとか、溶融施設、資源化施設、最終処分場、し尿処理施設などなど多々あります。これらの施設を新設する際の計画策定の業務、基本方針を決めたり、基本構想・計画、それから基本設計に至るまで一連の業務に携わっております。建設段階に入りますと、用地選定、地質調査、それから建設時の施工監理という業務が入ってきます。

環境保全等に関しましては、よくご存知のように環境アセスメント、こちらのほうが大きな業務の割合を占めております。

近年プロポーザルの仕事が大変増えております。提案によって業者を選ぶという形になりますので、そのときは提案書を作るのに、時間ですとかコストもかなりかかります。仕事は取れないときが多いのですが、これらの仕事をやっております。

次に、「技術者として」ですが、その前に、会社の設立が1975年、設立当初から廃棄物（環境）分野に着目して、廃棄物分解では全国展開をしておりましたので、関東地方を中心に福岡、大分、鹿児島、沖縄、秋田、青森、新潟など仕事で各地へ訪問することができました。これをお聞きの皆さんの中に、例えばごみの焼却施設、私たちがお手伝いしたところが随分あると思います。

先ほど廃棄物処理施設と言ったのですが、「廃

棄物って何ですか？」と改めて聞いてみると何だろうねとおっしゃる方が多いです。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、廃棄物処理法と言っていますが、定義では「ごみ、粗大ごみ、燃え殻、汚泥、ふん尿、廃油、…、汚物または不要物であって、固形状または液状のもの」をいいます。ただし、廃棄物処理法の対象とまらないものもあります。一定レベルを超えた放射性物質に汚染されたものなどで、これらは別の法律によって規制されています。

また、廃棄物には、家庭や事業所から排出される一般廃棄物とトヨタさんなど生産活動に伴って生じる産業廃棄物があります。この産業廃棄物というのは、法に定められている20種類に限られています。それら以外は全て一般廃棄物と法律的にはなっております。

大体こういう講演をさせていただくときに会場の方に、「今、日本人1人1日ごみをどれくらい出すか知っていますか？」と質問します。答えを言いますと、私たちは1人1日918グラムのごみを出しています。これは令和元年度の量です。ちなみに名古屋市は934グラムです。

過去30年間の推移はこちらの図になります。平成12年度の1,132グラムをピークに減少傾向を示しています。平成12年というのは環境元年と言われている年です。ずっと右上がりであったごみの排出を何とかしなくてはいけないということで、日本が環境行政に転じた、それに伴って皆さん努力されて減ってきております。



会場の様子

2. 技術者として

技術者として、の話に移ります。ごみ処理施設がどのようにして建設に至るかを大まかに整理した上で、私に関わってきた業務を紹介します。

まず、一般廃棄物処理基本計画があります。これは自治体が毎年出すごみの量やごみ質などのデータに基づいて将来のごみ量を推計するとともに、将来どの程度削減可能か、将来どの程度の資源化が可能かなどを検討します。この検討を基に自治体が施策を定め計画的なごみ処理ができるシステムを構築するわけです。

計画の中では、現在の施設の状況を考え、いつ頃どれぐらいの規模の施設を造ればよいかを検討します。自治体のごみ処理施設の規模は、人口と1人1日当たりの排出量に基づいて決まります。ですからごみの種類ごとの現状分析が重要となります。

施設整備の内容の決定では、施設整備の基本方針、基本構想などで施設の骨格を定めます。大体ここまでに建設用の用地が決定します。ごみ処理施設はNot In My Back Yard、NIMBY施設とも称されるようにマイナスイメージが強い施設です。建設には周辺の住民の方の合意が不可欠です。早くから用地選定する必要がある、実際このスタートラインに立つまでにかなりの期間を要し、計画から完成まで10年以上かかることもあります。

用地が決まってどのような施設を造るかが明らかになりますと、環境アセスメントに入っていきます。建設段階になりますと建設業者さんを選ぶ手続、それから発注へと進みます。ここでは自治体の希望に沿った最もふさわしい施設を造る業者さんを選定するサポートを行います。

建設が始まりますと、施工監理という業務が入ってきます。これは建設が工程どおり進んでいるか、設計どおりの施設ができているかをはじめ工事全体を統括する業務となります。

大きな事業ですとアセスメントが3年から4年かかります。建設工事も3年から3年半か

ります。計画から10年以上かけて事業をされる場合が多々あります。私は現段階この業務全般に関わってきているという状況です。最初から最後まで同じコンサルタントが関われば円滑な進捗と考えられますが、そうではなく、受注はプロポーザルであったり、金額が優先したり、各段階で業務を得るのに厳しい受注競争があります。

ごみ処理施設はNIMBYと先ほど申しましたが、私たちの生活には必要な施設です。建設、立地に対して理解を得ることが最優先課題です。そのために余熱利用の温水プールや浴場、足湯などの施設も設置します。最近の施設は発電を備えており、災害時のエネルギー拠点として、周辺の人たちの一時避難場所として立地する施設もできています。

では、私の技術者としての業務への関わり方を少し説明いたします。

中途採用だったのですが、面接された当時の東京支店の部長が、たまたま山梨県の出身の方で、私の履歴書を見て「名工大だったら大丈夫だ」とおっしゃってくださったことがすごく印象的でした。

入社後35年、かなり長いのでスライドは5年刻みで示しました。

最初の5年間、私が技術者としてスタートした頃、日本は大量生産、大量消費、大量廃棄社会の真っ只中でした。いわゆるバブル時代の終わりのころ、しかし、一方では様々な公害問題を解決する過程で環境への関心が高まり、アセスメントが世間に広まりつつあった時代でした。廃棄物処理施設の建設にも環境アセスメントが必要になってきておりました。入社したときは会社自体も若く、環境分野への業務展開を考えた時期でした。当時社内にはアセスメントを専門的に行うチームがなかったため、大学で化学を専攻し、騒音関係の公害防止管理者の資格を持っていた私が計画中的ごみ処理施設、たしか1日100トンぐらいの焼却能力だったと思いますが、その焼却施設のアセスメントの予測等を担当することになりました。

30年前以上の話です。アセスメントを任された頃、コンピューターで何でもできる今は全く違います。特に煙突からの排ガスの拡散予測は、先行事例を参考にするにしてもかなり試行錯誤の連続でした。数年間ごみ焼却施設の建設という一連の大きなプロジェクトの中で、全部任されたものが環境アセスメントでした。独立した業務を数本経験していく中で、施設を建設するために必要な調査を、いつ、どのように行うか、それから自分で企画する楽しさがあって興味ある仕事となりました。まだこの頃は興味ある仕事だったです。(後ほどかなりしんどくなってきましたが。)

社内でアセスメント担当という立場が確立して、ポジションもチームの中心的なものとなっていました。それと並行して施設建設の前段であるごみ処理の基本計画、こちらのほうへもだんだん業務範囲が広がってきました。この間、10年ほどたっているのですが、周りが見えなくなっていました。一度アセスメントを系統立てて学ばなくてはいけないという思いに至りました。というのは面白くなってきて、もっと大きいアセスメントもやりたいという気持ちが湧きました。もっと大きな業務になったときに不安が出てくる。また、環境に関する関心も高まりつつありましたので、住民説明会等に参加して自分の思いもかけなかった質問や、反対の意見を受ける中で自分の発する言葉の重さや社会的な責任ということを考えるようになりました。そこで会社に働きかけて、学会への参画や1週間のアセスメント講習会への参加費を出してもらいました。会社に入ってから七、八年ぐらいのこの頃、技術士資格を取りました。

入社後11年目以降はアセスメント、それから廃棄物関係の計画等も継続して担当しつつ新規分野も担当するようになりました。業務はより多様化し、焼却施設の構造も理解する必要がありました。焼却施設は、ごみが投入されて、どういうシステムで燃えて、最後に灰、それからガスとなって出ていく、そういった一連の流れを理解する必要があります。

1990年代は日本が循環型社会を目指して各種の法整備を(ばんばん)整えていた頃でした。自治体もそれに対応して、ごみ処理において種々の計画を策定する必要がありました。特に「容器包装リサイクル法」や地球温暖化やダイオキシン類の問題の対応等、環境分野が目まぐるしく動いておりました。(ダイオキシン類、構造式、化学の方は頭に浮かぶ方は多いと思います。)また、ごみ焼却施設からの排ガス中や灰には高濃度のダイオキシン類が含まれているということで大問題になりました。それは当時多くの施設で使用されていた電気集じん機をバグフィルターに変えることによって低減が可能となりましたので、付け替の工事(ダイオキシン類対策工事関連)が多くを占めておりました。私たちも施工監理で業務のお手伝いをしていました。ですから、工事中の検査などは防護服を身につけて施設の中に入ったり、竣工検査では煙突に上ったりもしております。昨年来のコロナ禍でこの防護服というのが医療に携わる皆様が身につけている白いもの、あれを身につけておりました。

この頃は、廃棄物を所管する省庁の各種計画の指針づくりのための基礎的な情報の収集や解析などに関わったり、また、新たな計画書の見本を作成したり、常に先端業務に接する機会が多かったです。面白さはあったのですが、自分たちの作った報告書がその後のスタンダードとなる怖さがありました。このような機会は私が技術士という資格を得たことによるもので、社外機関への参加というのは大変有意義なことになります。他の会社の技術者の様々な考えを知ることができましたし、周りの方の業務への取組姿勢を見て自分を振り返るよい機会でもありました。

しかし、積極的に参加していますと業界の中で研究会などの分担もありますので、業務に加えて負担が多くなるときもありました。話を戻しますと、こういう計画作成に関しましては、家庭でごみを扱っているのは女性が多いことから私が女性であるというメリットは少しは感じ

ています。

16年目以降、業務の発注形態が、指名競争入札からプロポーザルへ変わってきたところもありましたので、プロポーザル対応も仕事の中に入ってきました。

この頃、上司に、「たまには1億以上のアセスメントをしてみたい」と言って実現したのがこの仕事でした。

施設は発電つき、規模も大きいですから、県の環境アセスメント審議会も開催されます。作成したアセスメントについて、大気、水質はじめ生態系とあらゆる専門分野の先生から質問が山のように降ってきました。それに対する回答書をみんなで準備するわけですが、例えば排ガスの拡散効率、煙突の形が丸いほうがよいのか四角いほうがよいのか、など議論がありまして、3日間ぐらい部屋に籠もって、大気質の担当の先生の論文に目を通して審議会に臨みました。

技術を提供する仕事ですので、常に勉強している状況ですが、このときは本当にかなり厳しい状況でした。先ほど3日間ぐらい部屋に籠もって大気質担当の先生の論文にと言いましたが、会社泊まり込みという日もありましたので、夫に着替えを持ってきてもらったりもしていました。まさかこういう状況に自分が陥るとは思わなかったです。

この頃、公共事業は住民参加型がかなり多くなってきましたので、住民意識調査も女性の視点が大事ということで、女性の技術者というのは重宝がられていました。「やっぱり女性が入っていてよかったね」というところはありました。

最近、この10年でお示します。先に示した条例アセスの施設建設がスタートした頃、東日本大震災3・11を経験しました。現場は震度6でした。ちょうど揺れるさなか定例会をしておりました。さすがに、みんな外に飛び出して揺れが収まるのを待っていました。本当に長く揺れまして、地鳴りというものを初めて体感しましたし、近くを走る高压電線がかなり揺れたのが目に焼きついています。その日は私は自宅に戻れず、会社泊りでした。施工監理のメンバー

全員、とにかく帰りの車内で食料だけは調達しようということで、食料を確保して会社へ帰り着きました。ずっと余震が続き不安な思いをした1日でした。大変な目に遭った方は本当に多数いらっしゃると思いますが、私たちも僅かながらの体験者ですね。東京の自宅はもう惨たんたる状況でした。

駆け足の、説明ですが、常に国の廃棄物、環境施策とともに業務を展開してきたと言えます。今でもそうですが、コンサルタントですから、ごみだけではなくて環境問題も一緒に質問されます。知っていないということでは済まされないところもありまして、常に環境問題は知っておく必要があります。時代に即した対応を要求されていますので、「これでいいのだ」ということにはなりません。ですから常に勉強しているという状況です。

改めて述べることでないのですがマニュアル作りへの参画ですとか、常に国の廃棄物・環境施策とともに業務を展開してきたなあという感じです。業務の細々とした内容的なことはお話しできないのですが、このような業務をやりながら自分のスキルをだんだん高めていったというところです。



会場の様子

3. 技術士として

では、次が「技術士として」です。

先刻、技術士としての資格を得てから社外での活動が入ってきたと申しました。まず、技術士の説明をする前に私たちがいつも使用しているスライドで「研究者、技術者って何だろうな」

という関係を御説明させていただいています。

自然科学というのは自然のことわりを見つけ出す学問であってこれに携わるのが研究者。技術は自然科学の工学的な知識を用いて人工物をつくり出す集団です。これに携わるのが技術者で企画・開発・設計ができる人となります。

こちらに技術士の定義を記載しております。技術士というのは、技術士法という法律があって、それで定められております。読み上げますと、「技術士第二次試験に合格し、登録を受け、技術士の名称を用いて、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価、またはこれらに関する指導の業務を行う者」とあります。コンサルタントは、計画、研究、設計全部入ります。建設コンサルタントは、技術士資格を持っていないと業ができないという業種です。

技術士は名称独占資格です。例えばお医者さんや弁護士さんですと、その資格を持っている人だけが独占的にその仕事を行うことができる、これを業務独占資格というのですが、技術士は資格を持っている人だけが技術士と名をることができる、ですから名称独占資格という言葉方をしております。

では、技術士に求められる資質能力(コンピテンシーと言っています)は何でしょう。まず基本的なもの、技術士ではなくても持ってはいけけない技術者としての専門的な技術能力、それから業務遂行能力、行動原則ですね。そういったものは本当に備えていなくてはいけない要素になります。

その次に、ここですね、7つのキーワード(コンピテンシー)、これは文部科学省の技術士分科会で平成26年3月に国際エンジニア連合の専門職としての知識・能力を踏まえて求められる資質能力として7つのキーワードを定めており、その7つのキーワードが、専門的学識、問題解決、マネジメント能力、評価能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、技術者倫理ということになります。

一つ一つ細かな説明はこちらのウェブサイトから確認いただきたいのですが、専門的学識ですと、専門とする技術分野の業務に必要な技術部門全般にわたる知識を理解して応用する能力。問題解決能力、当然ながら業務遂行上に直面する複雑な問題に対して、原因ですとか要因を抽出して分析する能力。それからマネジメント能力ですね。業務に対する要求事項の特性を満たすことを目的として、人員、設備、金銭、情報等の資源を配分する能力です。

それから、評価、これは最終的に得られる成果やその波及効果を正しく評価して改善につなげる力ですね。コミュニケーション、これは雇用者、上司や同僚、クライアント、ユーザー等多様な関係者との間で、明確かつ効果的な意思疎通を行う能力。さらに、リーダーシップ、業務遂行に当たり明確なデザインと現場感覚を持って多様な関係者の利害等を調整し取りまとめる能力。それから技術者倫理があります。

先ほど小澤さんのスライドにもありましたが、私たちは技術者倫理というのは最優先で考えなくてはいけない、というところをいつもお話しています。要するに技術者というのは公衆の安全、健康及び福利を最優先に考慮した上で行動するという、ここが一番重要ではないかと思っております。

また、コミュニケーション能力も大変重要なところになります。私たちコンサルタントの技術者は住民説明会ですとか、各種委員会への出席があり、コミュニケーション能力はかなり求められます。また、円滑なコミュニケーションは自分の言いたいこと、意図すること、知ってほしいことが正確に相手に伝わりますので、業務においても指示を繰り返す必要がなく、したがって手戻りが少ない。業務を円滑に進めるための必要なツールです。また、私たちは文章で表現する仕事ですから文章能力も必要というところでもあります。

以上が技術士として求められる資質能力になります。

では、技術士になるにはどうすればいいか、

ここにお示ししております。まず修習技術者(第一次試験合格者)となって、次に技術士第二次試験に合格して技術士を名乗ります。

ここに指定された教育課程とありますけれども、この指定された教育課程というのはJABEE課程コースです。名工大にもJABEE課程コースがありますが、JABEE課程を修了されますと第一次試験に合格と同じ資格になりますので、第一次試験を受けなくて修習技術者というところに入ります。それから、ある一定の業務経験を得て第二次試験を受けるという形になります。なぜ業務経験が必要かというのと、技術士というのは業務に直結した資格だからです。

私がコンサルタントに勤務していることから、今日は技術士ということを少し御紹介させていただいたのですが、悲しいことになかなか技術士は世間に浸透しておりません。が、市役所ですとか県庁等の役所でも技術士資格を有する人は出てきております。それは発注者として確かな技術力が必要だからとです。

今年度、第一次試験が11月28日に実施されますので、どういう試験内容が出るかというのは見ていただければ分かります。大学期間に第一次試験はぜひ取っていただきたいというぐらい数学、物理、化学、そういう専門的内容となっております。

「技術士だからできたこと、できること」ということとしては、建設、上下水道、衛生工学、電気・電子部門の技術士がいないと建設コンサルタントと名のれませんので、会社は技術士資格を重要視します。資格手当も出ます。

監理技術者ですとか主任技術者のポジションに就くことが出来ます。また、国・県などの専門委員ですとか、(写真)私は女性の技術者の育成という形で活動しておりましたので、ICWES(国際女性技術者科学者会議)やWEC(世界工学会議)という国際会議への参加もあります。国際会議ではレセプションには和服で参加します。和服ですとかかなり皆さん興味を持っていただけます。



会場の様子

4. 多様性のなかで…

さて、最後に「多様性の中で」ということでスライドを出しました。この中で男女共同参画、ジェンダーギャップ指数、ジェンダー平等、ダイバーシティ&インクルージョン、アンコンシャスバイアス、どれか聞いたことがある方?、どれもこれも最近かなり巷にあふれていることばだと思います。

新型コロナ禍において働き方改革、これがキーワードとなっています。先ほど理事長の話にもありました。SDGsとともに女性活躍に関連する言葉があふれています。これらのことばに関しまして、幾つ説明できますか、そういったこともいつも皆さんに関心を持っていただくために問いかけさせていただいております。

現在、私は日本技術士会の男女共同参画推進委員会の委員長を拝命しておりますので、女性技術士の占める割合の推移をお示しします。全体の技術士の中で僅か2.1%なので絶滅危惧種ということばを使っております。委員会活動の中には、理工系的女子学生さんや技術者を目指す女性に対して年4回技術サロンのようなものを展開しております。

これが先ほど申しました令和3年3月31日時点の技術士の登録数と女性の割合です。約9万5,000人に対して(女性は)2,000人ぐらいです。平成15年から令和2年までみると、この頃1%にも満たなかったのが、だんだん増加してきてはいます。

なぜ女性技術者は少ないか、いわゆる男性社

会において女性が技術分野で働いている様子が見えない、どのようにキャリアを積んでいけばよいか分からない、それ以前にこちらに示しておりますように理工系へ進む女性自体が少ない、ことにあります。そんな中で女子学生が自分の未来を描けない状況があるのかなと思います。私たちが技術サロンのような活動を始めたわけです。

せっかく高度な知識を身につけてもその力を発揮できない社会、大変もったいないですね。男性の皆さん、「女性は長く勤められない」、「女性は論理的ではないから理数系に向かない」、そういった意識をお持ちじゃないでしょうか。それが先ほどの「はてなマーク」の一つのアンコンシャスバイアスです。いわゆる無意識のバイアスですね。男女共同参画学協会連絡会のウェブサイトでの説明を引用しますと、「アンコンシャスバイアスとは誰もが潜在的に持っているバイアスのことです。育つ過程で知らず知らずのうちに脳に刻み込まれて固定観念となっていく。無意識のバイアスは自覚できない。それは自制することが難しく、特に採用や昇進人事の判断に影響することがあります。」となっています。ですからこういうバイアスを外していかなければいけないということは今盛んに言われています。

サイエンスアゴラで会ったある高専の先生から、女性の技術者の話を生徒たちにぜひ聞かせたい。高専ですから男性が多いですね。将来自分のパートナーが技術者である可能性が高い。そのときにパートナーの活躍の芽を潰さないように男子学生にも聞かせたいと言われました。これが10年以上前の話です。男女ともに活躍できる社会、多様性を認め合う社会を創出していただきたいなあ、と思います。

また、ジェンダーギャップ指数、こちらも世界経済フォーラムが示す男女格差を数値化した指標ですが、日本は156か国中120位、主要7か国の間では最下位を独走しています。その要因は、特に経済と政治のスコアの低さにあり、日本の男女格差が10年間ほとんど解消されてい

ない、もしくは他国が一所懸命格差を狭めることに努力しているということではないかと思います。

技術者になるか研究者になるか、また別の道へ進まれるか、聞いていただいている学生さん、いろいろな選択肢がありますが、どこへ行ってもリーダーとなって活躍いただきたいと思っています。どうしてかという、例えば悪いのですが、今大震災が発生して、避難所で過ごすことになったとき、自分の周りにいる人たちが安全で快適な避難生活を送るためにはどうすればよいか、何ができるか考えて、リーダーとしていち早く立ち上がってほしいなと思います。リーダーの行動一つで周りの人が幸せになります。

そして、技術士にチャレンジしてください。20部門あります。女性の皆さんには資格を得てぜひ私たちと一緒に活動していただきたいです。待っています。

以上です。ありがとうございました。

(拍手)



司会：大鹿理事

質疑応答

【司 会】

石田様、ありがとうございました。

技術士と技術者の2つのお立場、それから男性でも女性でもリーダーにチャレンジしていただきたいというメッセージだったかと思います。会場からもしご質問がございましたら、せっかくですので、どなたかお願いいたします。

———質疑応答———

【質問学生】

こんにちは。物理工学科の井上と申します。
本日は興味深い話をありがとうございます。

【講 師】

ありがとうございました。

【質問学生】

コンサルタントのお話の中で質問させていた
だきたいです。

業務を進める中で、ボトルネックとなって、
段階、計画が止まってしまう箇所があると思う
んですが、そこでスムーズに業務を進めること
が大事だと思っていて、そこで工夫されている
ことがあれば教えていただきたいです。

【講 師】

確におっしゃるようにボトルネックは多々
あります。ただそのときには諦めて手戻りする
ことも必要なんですね。公共事業は限られた時
間、ある一定の時間内に仕上げなくてはいいな
い、だから予定どおり進めなくてはいいなとい
うこともあるんですけども、そのまま進ん
でより深みにはまる前に、山登りと同じなん
ですね、これがボトルネック、クリティカルだ
なと思ったら少し後戻りする。あとはほかの
方法を考えられる余裕があればそうする。や
はりコミュニケーション、みんなの知識を出
し合って解決に向かうということが一番なの
かなと思います。あまり回答にはなっていま
せんけれども。

【質問学生】

ありがとうございます。
私自身の生活にも応用したいと思います。

【講 師】

ありがとうございます。

【司 会】

ありがとうございました。
大変心強い質問とご回答だったと思います。
ほかにございますでしょうか。
じゃあそちらの女性の方。

【質問学生】

創造工学教育課程に所属して知能情報分野を
専攻しています中村です。よろしくお願いします。

先ほどの技術士のお話についてなんですけ
ど、技術士にはリーダーシップが求められて、
やはり女性がリーダーというのは日本だとバイ
アスが強くて困難なことが多いのかなと感じた
んですけど、何か苦悩はありましたか。お願い
します。

【講 師】

そうですね、やはり女性がリーダーをやっ
ていくという上では、技術士資格のPRにつな
がってしまいますが、資格がないとなかなか認
めてもらえない。ただ技術士って技術者の証明
です。技術士だからということで、ある程度認
められるというところではあります。

それ以前ですと、女性が一生懸命リーダーを
やっている、結局はリーダーだから一生懸命
やっている姿を見せなきゃいけない、頑張らな
くてはいけないという思いが強く出てしまいま
す。(これは苦悩といえます)が、頑張った割に
は成果が出ない。ですから、そういう資格を持
っていることによって業務が円滑にできるとい
うのはありますね。

当然、お役所(事業主)に対して自分の経歴も
出すわけですね。となるとそれを持っている、
持っていないかによってやはり役所の方の対応
も違ってくるとするのは現実です。ですから技
術士を取ってから、それからが自分のさらなる
キャリアアップの一つだという形にはなりま
す。

「なかなか認めてもらえないなあ、だったら
技術士取っちゃおう」は、私たちの活動仲間
ではそういう人がいっぱいいます。以上です。

【質問学生】

ありがとうございます。
今後も資格についてちょっと興味を持ってい
きたいなと思いました。

【石田佳子氏】

ぜひ頑張ってください。

【司 会】

女性ならではのご苦労と資格のお話を有難うございました。

まとめのほうに入らせていただけてよろしいでしょうか。

本日は、お二人の講師にお忙しい中、またリモートという条件の中、快く講師を引き受けていただき有難うございました。また、冒頭、オンライン機材のトラブルで開始が遅れまして大変申し訳ございませんでした。

小澤様が学生さんに伝えなかったのは「何事も目標を持って取り組み、一度しかない人生を楽しみましょう」と言う、“明るく・楽しく・元氣よく”がモットーの小澤さんらしいメッセージだったと私は思います。

また、石田様のメッセージは、「技術士を目指して、学生時代からチャレンジしてリーダー的な存在になってほしい」ということであったと思います。

会場からも質問をいただきまして、大変良いトップセミナーになったのではないかと思います。

興味深い貴重なご講演に対し、お二人の講師に感謝の意味も込めた盛大な拍手をお願いいたします。(拍手)

これをもちまして2021年度OB・OGトップセミナーを閉会とさせていただきます。皆様、本日は有難うございました。



講師と工業会関係者の写真

名工大ほか関係者の皆様のおかげで、今年度のトップセミナーが何とか開催できました。

心から感謝申し上げます。

就職支援としての次年度以降のセミナーのありかたを、名工大と工業会でさらに検討いたします。

読者の皆様からセミナーに対するご意見をお寄せください。



講堂内講師控室にて講師のお二人と理事長及び司会者の打ち合わせ

名古屋工業大学基金のご案内

名古屋工業大学は、産業界、地域社会、そして卒業生の皆さまから支持される魅力的な大学づくりを目指しています。世界へ羽ばたく多くの学生・研究者を支援するため、皆さまからのご寄付・ご支援をお願いいたします。

<https://www.nitech.ac.jp/kikin/>

名工大基金

検索

ご寄付のお申込み、お問い合わせは、
基金室(Tel:052-735-5004 E-mail:kikin@adm.nitech.ac.jp)に、お願いいたします。

学生コーナー

還暦を過ぎての学びなおし

大学院工学研究科博士前期課程
工学専攻社会人イノベーションコース
川村研究室 岡村隆徳

思い起こせば、2年前の2020年1月は満60歳の還暦を迎え、29歳で起業した会社も30周年となり、さらに2度目の東京オリンピックも開催が予定される、まさに喝采の年になる年明けでした。しかし、前年末から中国武漢に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によるパンデミックは想像を絶する速度で世界中に波及し、この年の1月を境に日常は一変しました。

私は1989年に愛知県内の工作機械メーカーを経て、製造業向けソフトウェア受託開発やパッケージソフト開発の会社を起業しました。その後、オープンシステムの普及により海外のベンチャー企業との提携により、多くの独創的な3次元エンジニアリングソフトウェア、ハードウェア製品を日本市場向けに商品化してきました。そのため欧米を中心としたパートナーとの商談やオフショア開発の拠点であるインド、ベトナムの子会社への訪問などで頻繁に海外出張に出かけ、国内出張も含めると月の半分は自宅に戻らない日々が20年近く続いていました。



CG業界の第一人者でフォトンマッピング法の開発者であるLuxion社の創業者Henrik Wann Jensen氏と米国アナハイムにて

しかし、この2020年1月を境に海外渡航は不可能になり、展示会などの国内活動も大きな制約を受けることになりました。当時の私にとって海外の展示会やパートナーとの情報交換などで先進技術や情熱を持つ人々に触れ、国内市場に展開することは生きがいでもありました。

その後、東京オリンピックも延期され先の見えない混沌とした状況の中で、この際、学びなおしの良い機会と考え、名古屋工業大学大学院社会人イノベーションコースの門を叩くことになりました。ポストコロナは世界や社会の常識が大きく変わると予想され、そのためには知識や経験に頼るのではなく錆びついた思考力、創造力を磨きなおす必要があると考えました。



最後の海外出張となった米国での3Dプリンターベンチャー Mark Forged社(ボストン)の創業者Greg Mark氏と

この1年間の講義や研究室のゼミで費やした時間は新鮮であり、学べることへの喜びや新たな発見など、大変貴重な経験となりました。

入学して間もなくは、緊急事態宣言、まん延防止重点期間の繰り返りでオンライン授業が大

半となり対面授業は限られた講義のみでした。講義の臨場感こそありませんが、私にとっては通学などの時間が節約でき、仕事への影響は最小限に抑えることができました。またオンデマンド講義に関しても何度も聞き返し、理解を深めることに役立ちました。

講義の中では現代の社会的課題である新しい資本主義の形や分配と経済成長など、さらに数年前からの第4次産業革命やDX、カーボンニュートラルなどのムーブメントに関しても理解を深め、それらの対応を具体的に考える機会も得られました。また先端の技術的トレンドでもあるデータ解析、機械学習、IoTさらにロボット工学なども掻い摘んで学習することができました。プレゼンテーション技法に関しては今更ながら伝わらない悔しさと向き合い、ロジカルにシンプルに構成を組み立てていくことで、よりわかり易い表現方法が習得できたと思います。今までは社員やパートナー、お客様が付度してくれていたのかも知れません。

研究課題として取り組んだテーマは中小製造業の自律型DXの手法としてメタデータ管理を取り上げ、仕事上で日頃感じることをテーマとしました。製造業においてITツールは不可欠ですが、気が付けばプラットフォーム、ツールはほぼ海外勢となり、サブスクリプション、メンテナンスなどベンダー主導でビジネスや開発の方向性も決められています。以前は海外ベンダーも日本の市場からのニーズをくみ取り商品開発に反映するなど日本市場を重要な拠点として位置付けており、日本で受け入れられた製品は世界に通用すると言われたものでした。

現在のベンダー環境はグローバル市場を意識したプラットフォーム戦略として大手企業によるM&Aにより進められていますが、ユーザー企業としては国内外のベンダーに過度な依存をすることなく自社内のITエンジニアを育成し、活用するだけでなく、新しい価値を生み出す戦略が必要と感じます。

講義の中でもこの“自律と共生”のテーマを耳にすることが多く、今後の指針として共感しました。

今後の業務における課題としては働き方の変化と企業の成長性をどう両立させていくか。不確実性の時代における革新への挑戦と持続性さらに新しい時代へのバランス感覚やビジネスモデル変化の対応を早急に進める必要があります。個人としては還暦までは会社、社員、家族のために働いてきましたが、これからは微力ながら社会のために生涯現役を目指して行きたいと思います。

現在2022年3月21日時点でまん延防止重点措置も解除され、まだ第7派の懸念は残るものの感染防止対策を徹底してニューノーマル開始の様相です。今月から徐々に各国の入国規制緩和の動きが見られ、近いうちには海外出張が再開できそうです。



3/19名工大音楽プロジェクトコンサートでの川村研究室の友人と記念撮影 NITech Hall 前にて

最後に終始熱心なご指導を賜りました川村先生ならびに社会人イノベーションコースの先生方、いつもSNSやオンラインで励ましをいただいた研究室の友人にこの場をお借りしてお礼申し上げます。また、このコロナ禍の大変な局面でも業績を守ってくれた社員、いつも暖かく応援してくれた家族にも感謝です。

新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2022/2/13	朝	8	渡辺研司	社会工学専攻	被害相次ぐウイルス ランサムウェア 中小企業4分の1 「聞いたことない」 県警アンケート サイバー犯罪対策促す
2022/2/17	静岡版 朝	11	阿藤 聡	生命・応用化学専攻 博士研究員	スポーツ振興助成 31件、総額3030万円 ヤマハ発22年度
2022/2/20	朝	13	田中佐知男	卒業生(Y61)	瀬戸内海に差し込む光描く 東区で田中さん個展
2022/2/23	朝	13	田中佐知男	卒業生(Y61)	光 瀬戸内海に見いだす 名古屋で絵画展 一宮出身田中さん
2022/3/2	朝	15	高橋 実 堀越哲美	元学長 名誉教授	愛産大・短大 学長に高橋氏、名誉教授に堀越氏
2022/3/2	朝	15	船橋鉦一	名誉教授(M28)	叙位叙勲 愛知 正四位
2022/3/3	朝	14	名古屋工業大学	—	野跡駅前の西側に物流倉庫など計画 名港管理組合土地売却
2022/3/3	朝	14	名古屋工業大学	—	腹ぺこ学生 みんなで支援 南山大など学生有志が食料配布
2022/3/5	朝	17	滝川 孝	元名工大事務局長	叙位叙勲(4日) 正五位
2022/3/9	朝	8	名古屋工業大学	—	企業のDX後押し官民学で組織設立 中部経産局や名商など
2022/3/17	夕	11	大幸裕介 前田浩孝 松盛裕明 石井陽祐	生命・応用化学専攻 生命・応用化学専攻 電気・機械工学専攻 生命・応用化学専攻	永井科学技術財団賞決まる
2022/3/24	朝	14	名古屋工業大学	—	大学院修了の留学生 就職控え知事に抱負 技術系中心、奨学生受給
2022/3/26	朝	13	名古屋工業大学	—	中部発 人材育成 情報を分析→製品やサービス向上に応用 データサイエンティスト 長期就業体験始
2022/4/3	朝	11	名古屋工業大学	—	名工大と県芸大が包括連携協定締結



名古屋工業会のHP 会員限定ページについて

会員限定ページをご覧いただく際にはパスワード入力が必要となります。

【パスワード:gokiso5298】

ホットライン

永年勤続退職者に 感謝状授与しました

名古屋工業会は、3月23日、永年にわたり母校名古屋工業大学に奉職され、貢献され退職される教職員7人に感謝状と記念品を授与しました。

授与者（敬称略）

山下啓司、西尾尚晃、京田司、三浦栄一、
玉岡悟司、日比野寿、服部博文



名古屋工業会本部で授与（この日は3人が出席されました）

挑戦的課外活動支援団体の紹介

名古屋工業会では、学生生活に対する多様な支援を実施しており、その1つとして、毎年、高い目標に挑戦する課外活動団体を支援する取組みを行っています。

2018年度までは、名古屋工業会が指定した4団体に支給していましたが、2019年度から応募制に切り替え、多くの課外活動団体に支援が行きわたるようになりました。その結果、2019年度5団体採択（応募6団体）、2020年度10団体採択（応募10団体）、2021年度12団体採択（応募12団体）と年々広がり、多くの課外活動団体に知られるようになってきました。

（2021年度採択団体名：フォーミュラプロジェクト、ソーラーカー部、自動車部、馬術部、ボート部、陸上競技部、弓道部、レスキューロボ、人力飛行機、ライフル射撃部、ロボコン部、航空部）

昨年11月20日に開催された支部長会議において各部代表者に目録を授与しました。



以下、2021年度の支援団体となった部活団体から幾つかの団体を紹介します。

フォーミュラプロジェクト

2021年8月27日（火）～31日（土）にわたり、オンラインにて「学生フォーミュラ日本大会2021」（参加登録73チーム）が開催され、「名古屋工業大学フォーミュラプロジェクト "NIT Formula Project"」がデザイン賞1位の他、各賞を獲得しました。

同団体は、学生フォーミュラ日本大会に2003年の第1回から出場し、2015～2017年には3年連続3位。2019年に悲願の総合優勝を果たした。世界レベルでも、ランキング2位とされています。



フォーミュラプロジェクト



ソーラーカー部

ソーラーカー部

オーストラリアで隔年開催されるワールドソーラーチャレンジで8位(2019年)となるなど、世界レベルの高い成績を残しています。残念ながら2021年度は中止。直近では国内戦は、ソーラーカーレース鈴鹿OLYMPIAクラスで7位（2021年）となりました。

馬術部

馬術部は、2021年度全日本学生馬術大会で6位となるなど高い成績を修めています。また、コロナ禍でもアルバイトにより餌代を捻出し、馬の管理をするなど、日常から努力を積み重ねています。厩舎は、守山区志段味にありますので、ぜひ、見に来てください。



馬術部



弓道部

弓道部

弓道部は、常に高い実績を残しており、今年度も東海学生弓道六十射会で個人優勝、準優勝、3位。名古屋ユニバーシティーカップで男女混合優勝、東海学生弓道選手権大会で団体Aチーム優勝などの成績を残しています。

情 報 ネットワーク

名工会東京支部 第250回ゴルフ大会報告

名工会東京支部第250回ゴルフ大会は3月30日(水)、今年初のラウンドが本厚木カンツリークラブにて開催されました。今年も相変わらず、マスクと手指消毒、黙食などのコロナ感染対策を励行しながらの競技になりました。記念写真にあるように、満開の桜を愛でながら、ゴルフと春の訪れを心行くまで楽しみました。

結果は、優勝 E33藤田さん(Net75, HC14)、準優勝 D35済木さん(Net79, HC34)、第3位 M39津田さん(Net82, HC19)でした。

また、今回は小関先輩から、先回の白寿の祝会の返礼として、特別賞が設けられ、竹林さんが「100打賞」、99打の西口さんと河野さんが、また101打の津田さんが「さんねん賞」を、それぞれ獲得されました。

その後、いつものように和やかに各賞の表彰式と懇親会を行いました。

次回は令和4年6月8日(水)に「中山カントリークラブ」にて開催いたします。皆様の奮ってのご参加を期待しています。

なお、入会をご希望の方はC44川島泰(k_tai@amethyst.broba.cc)までご連絡ください。

記：実行委員 三好 修(A40)



後列左から：E30 加藤（規）、A40 三好、D42 河野、
D36 加藤（精）、D39 竹林、C44 川島、A40 馬嶋、
M18 小関、M49 西口
前列左から：M36 野澤、D35 済木、M33 藤田、C42 原、
B48 石川、M39 津田

第129回名工大ごきそ会報告

第129回名工大ごきそ会は、令和4年3月29日(火)名古屋市守山区に位置する緑ヶ丘カンツリークラブで15名の参加を得て開催されました。春日和で穏やかな気候の中、満開の桜、木蓮、シデコブシの花などを愛でてのゴルフ日和でした。

当日は病気から回復された平岡さんも久しぶりに参加され、ほぼフルメンバーでのコンペになりました。コースには若い人たちも含め多くのプレーヤが集まり、三密を避けてゴルフを楽しむ人が増えていることも実感できました。

今回の優勝者は平岡雄偉さんで、グロス92、ネット68のスコアでした。約1年半のブランクがあったとは思われない堂々たるスコアで以前の実力を遺憾なく発揮されました。準優勝者は本クラブのメンバーの梶原俊彦さんで、グロス92、ネット73の成績でした。実力通りのスコアでまとめられました。第三位は小磯智恒さんで、グロス96、ネット74の成績でした。BB賞は伊佐治武さんが獲得されました。特別賞としては、ベストグロス賞は泉地正章さんでグロス91の成績でした。ニアピン賞は市橋洋志さん、小磯さん、赤井さんの3名でした。バーディー賞は市橋さん、平岡さんという結果でした。

平岡さんは、名医による人工関節の手術のお蔭で再び回復できたとのことでした。また回復後の1月から3月にかけて練習を積んだことが今回の成果となり喜びをかみしめておられました。

コロナウイルス感染予防対策のため、パーティーは早々に切上げ、次回の予定を確認して散会となりました。次回は、代表幹事の篠田様のご紹介で6月9日(木)豊田市に位置する三好CCでの開催を予定しております。

名工大ごきそ会では、新規会員を募集しております。愛知県内のゴルフクラブで年4回開催しています。気楽にプレーできますので、興味のある方は山田までご連絡ください。

(E-mail:kazuoy50@hm10.aitai.ne.jp)

記：山田和男(E47)





名古屋工業大学公開講座

2022年度公開講座実施一覧

No.	名 称		対 象 者	募集 人数	期 間	実施時間	料金[円]
0	正多面体を回して開く幾何学の道		高校生及び一般市民	50	2022年 5月28日(土)	14:00~15:30	無料
No.	担 当	名 称	対 象 者	募集 人数	期 間	実施時間	料金[円]
1	創造工学教育推進センター	技術士資格取得に向けて	技術者	30	2022年 5月14日(土)	13:30~16:30	1,860円
2	社会工学科	大災害時の避難と帰宅困難	一般市民	40	2022年 5月21日(土)	13:30~17:00	無料
3	工学専攻社会学系 プログラム	日本の産業を支える港湾	技術者	100	2022年 6月25日(土)	14:00~17:00	無料
4	留学生センター	世界の歌と文化	小学校高学年から高校生 およびその関係者	20	2022年 7月23日(土)	13:30~15:30	無料
5	極微デバイス次世代 材料研究センター	半導体ナノテクノロジー 日本を支える最先端技術	高校生及び一般市民	20	2022年 8月1日(月)	15:00~17:00	820円 (高校生以下 無料)
6	電気・機械工学科	体験！電気・機械工学 ー基礎から学ぶ身のまわりの電子材料ー	高校生	30	2022年 8月第1週頃	13:00~17:00	無料
7	電気・機械工学科	体験！電気・機械工学 ー基礎から学ぶ身のまわりの機械の不思議ー	高校生	30	2022年 8月第1週頃	10:00~16:00	無料
8	技術部	第7回工大テクノチャレンジ	小学生~高校生	54 (予定)	2022年 8月3日(水)~ 8月5日(金)	9:00~16:30	無料
9	物理工学科	体験！物理学の世界	高校生	30 以下	2022年 8月9日(火)	10:00~16:00	無料
10	情報工学科	見る・聴く・話す 知覚メディア技術が切り拓くA I 研究最前線	高校生・中学生および 一般市民 (希望者多数の場合は 高校生優先)	30	2022年 8月9日(火)	13:00~16:00	1,230円 (高校生以下 無料)
11	産学官金連携機構	はじめての3D-CAD	工学系基礎知識・経験を お持ちの社会人技術者	24	2022年 8月20日(土)	13:00~15:00	1,240円
12	電気・機械工学科	電気で遊ぼう！ 模型電気自動車の製作	小学生高学年 (4~6年生) (付き添いとして保護者 の参加歓迎)	45	2022年 8月20日(土)	13:00~16:30	無料
13	生命・応用化学科	ポリマー・光合成色素を使って太陽電池を 作ろう！	高校生(中学生でも可)	20~30 程度	2022年 8月23日(火)	13:00~16:00	無料
14	先進セラミックス研究センター、 生命・応用化学科	持続可能な将来社会を実現するための 材料開発にむけて	高校生及び一般市民	30	2022年 8月26日(金)	13:30~16:30	1,230円 (高校生以下 無料)
15	生命・応用化学科	子供向け実験講座	小学校3年生~6年生	40	2022年度 夏休み頃と 3月の週末(未定)	夏休み頃 13:00~15:00 3月週末 10:00~12:00	無料
16	社会工学科	作業の「くふう」からの経営戦略	中学生、高校生	10	2022年 9月17日(土)、 9月24日(土)	13:30~16:00	無料
17	工学教育総合センター	豊かな生活とは何だろう 快適で安全な生活を支える科学技術	一般市民	50	2022年 10月8日(土)、 15日(土)、 22日(土)	13:00~16:00	無料
18	工学教育総合センター	「しあわせ」になる方法 心理学による幸福の実践	中学生を除く 15歳以上	未定	2022年 11月予定	14:00~15:30	無料
19	情報工学科	コンピュータサイエンス・アドベンチャー ~理論計算機科学はこんなに面白い！~	高校生及び一般	未定	2022年 11月19日(土)	13:00~16:30	1,230円 (高校生以下 無料)
20	情報工学科	プログラミング体験 ~ロボットを動かすプログラムを作ろう~	高校生 (家族の同伴可)	20	2022年度冬	13:30~16:30 (予定)	無料
21	技術部	第3回工大テクノチャレンジ WEB ~オンデマンド型オンライン講習~	小学生~高校生	制限なし	未定	—	無料

・講師、会場の都合や警報等の発令により、講座の日程等が変更になる場合があります。
・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止やオンライン開催に変更する場合があります。
・募集人員に達し次第、受付を終了する場合があります。

各講座の詳細はホームページに掲載しています。

最新情報、詳細、申込は
こちらをご覧ください

事前申込みが必要です。申込方法等は裏面をご覧ください。

■問い合わせ先

名古屋工業大学学務課学務企画係

(名古屋市昭和区御器所町) TEL (052) 735-5069

アドレス <https://www.nitech.ac.jp/course/>

名工大公開講座 検索



2022年度名古屋工業大学 公開講座申込書

※大学連携シリーズ講座（No.18）は、本申込書は使用できません。名古屋市教育委員会「生涯学習webナビなごや」等をご確認ください。
※オンライン講座（No.21）は、本申込書は使用できません。ウェブの申込フォームよりお申込みください。

講 座 名	No.	名 称		
フリガナ		学 年	年 齢	
氏 名			歳	
勤務先又は 学 校 名				
連絡先住所	☐ 自宅	〒		
	☐ 会社			
電 話 番 号	()	—		
携帯電話番号	()	—		
F A X 番 号	()	—		
E メ ー ル ア ド レ ス	@			
	※パソコンからのメールが受信できるアドレスをご記入ください。			
この講座を 知った情報源	☐ 名工大HP ☐ その他Web ☐ パンフレット ☐ チラシ ☐ 新聞 ☐ 勤務先又は学校からの紹介 ☐ 知人・家族等 ☐ その他 ()			
	・「その他Web」の場合、その名称を選択又は記入してください。 ☐ 生涯学習Webナビなごや ☐ あいちの学校連携ネット ☐ その他 ()			
	・「パンフレット」「チラシ」の場合、その受取場所を選択又は記入してください。 ☐ 名工大からの郵送 ☐ 生涯学習センター ☐ 図書館 ☐ 区役所 ☐ その他 ()			
備 考	※希望テーマを選択するものについては、希望順に番号を記載してください。			昨年度の受講
				有 ・ 無

※お申込みは各講座の受付期間内にお願いします。受付期間は、HPまたはTEL等でご確認ください。

※複数の講座に申し込まれる場合は、本紙をコピーの上、講座毎にお申込みください。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、日程の変更や中止、オンライン開催となる場合があります。

※本学が取得した個人情報、名古屋工業大学情報セキュリティポリシー及び名古屋工業大学の保有する個人情報の保護に関する規程に基づき適切に取り扱います。

受講にあたっての留意事項

- 有料の講座については、講習料納入後の払い戻しはできません。
※但し、自然災害等の影響などにより大学の判断で中止とした場合は除きます。（受講料の返還に係る口座振込手数料等については、大学の負担としますが、受講料振込時の振込手数料については返還できませんので、ご了承ください。）
- 受講希望者多数の場合には、期限前でもお申込みの受付を終了させていただく場合がございます。
- 受付期間終了後、受講のご案内をEメールもしくはFAXにて通知します。
※有料講座の申込みをされた方には、別途講習料の納入方法をお知らせします。
- 受講日には、講義開始時間までに直接会場に集合願います。
- キャンセルは極力ご遠慮ください。やむをえず受講を辞退される場合には、下記問い合わせ先までご連絡願います。
- 自動車による名古屋工業大学構内への入構はご遠慮ください。
- 障害等のある受講希望者で受講上特別な措置及び配慮を必要とする方は、事前にご相談ください。

申込方法

- ウェブサイト
<https://koukaikouza.ict.nitech.ac.jp/reception/>
から申し込んでください。
- 電子メール
次の全事項明記の上、メールの件名を「公開講座申込み」として、下記申込先のe-mailアドレスへ送付してください。
①受講講座番号、受講講座名 ②氏名（ふりがな） ③学年 ④年齢
⑤住所 ⑥電話番号 ⑦勤務先又は学校名 ⑧この講座を知った情報源
⑨メールアドレス ⑩昨年度の受講の有無
⑪希望のコース（コース選択のある講座のみ）
- 郵送またはFAX
公開講座申込書を記入して、下記申込先へ送付してください。
- 窓口
公開講座申込書を記入して、下記申込先へ提出してください。

申込先・問い合わせ先

〒466-8555
名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学学務課学務企画係
e-mail: gakumu-kikaku@adm.nitech.ac.jp
TEL: (052) 735-5069 (ダイヤルイン)
FAX: (052) 735-5072
URL: <https://www.nitech.ac.jp/course/>
受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (土・日・祝祭日を除く)

申込フォーム



令和4 (2022) 年度名古屋支部総会

令和4 (2022) 年度工業会名古屋支部総会を下記の通り開催致します。なお、総会終了後に開催します講演会は、名古屋工業大学の全学公開講座を共催事業として実施いたします。会員の皆様におかれましては是非ご出席頂きたくお願い申し上げます。

1. 日 時：令和4 (2022) 年 6月25日(土) 12:30 ～ 受付開始
2. 場 所：総 会 名古屋工業大学 2号館 3階 0232講義室
講演会 名古屋工業大学 2号館 1階 0211講義室
3. 日 程：1) 総会(13:00 ～ 13:45)
2) 講演会「日本の産業を支える港湾」(14:00 ～ 17:00)
講演①「港湾と物流の基本と歴史」
講演②「日本の港湾政策と名古屋港における取組」
講演③「広域災害時の企業の事業継続に不可欠な港湾機能のレジリエンス強化の重要性」
講師：名古屋工業大学大学院 秀島栄三教授
名古屋工業大学大学院 渡辺研司教授
名古屋港管理組合 宮田 亮理事 様
4. 申 込 先：参加希望される方は、下記の支部連絡先又は単科会連絡幹事等へ、事前にご連絡下さい。
新型コロナウイルス感染症対策の一環として、参加者の氏名、住所、連絡先を把握しておく必要がありますので、お申し込みの際は、参加される方の氏名、住所、連絡先をお教えください。宜しくお願い致します。
なお、総会当日、①当日、37.5℃以上の発熱や体調が優れない場合、②過去2週間以内に発熱や風邪の症状があった場合(ただし、病院を受診し新型コロナウイルスではないと診断された場合を除く)には、参加を見合わせていただくようお願い致します。
締切は6月1日(水)

支部連絡先：山盛 康(名古屋工業会名古屋支部庶務幹事)

E-mail : y.yamamori.am@city.nagoya.lg.jp TEL : 052-782-2111 FAX:052-782-2140

C E 会 山盛 康 (C③) TEL052-693-5351	名窯会 西部 徹 (Y③) TEL070-4211-4555
光鱈会 宇佐美智伯 (A⑥) TEL052-704-6137	名晶会 栗田 典明 (K60) TEL052-735-5297
巴 会 北村 憲彦 (M56) TEL052-735-5351	計測会 米谷 昭彦 (F60) TEL052-735-5380
電影会 三宅 正人 (E60) TEL090-3581-4472	経友会 仁科 健 (B50) TEL052-891-5852
双友会 伊藤 哲夫 (W45) TEL052-718-0237	情友会 犬塚 信博 (J62) TEL052-735-5050
緑 会 村瀬 由明 (D53) TEL052-805-0673	

各単科会幹事様は、メールにて、参加者情報を、山盛あてにご連絡いただけますと幸いです。

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター 定期刊行物 etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不得意とされる版組みの書籍・表組みの異物も得意分野です。

印刷

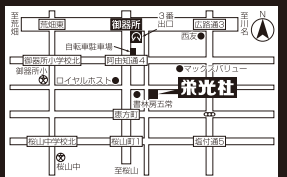
カラー印刷: 2色刷り・1色刷り・特色刷り、品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。
Macintoshのみならず、ワード・太郎等の通称オフセット印刷に遠ざないWindowsデータの出力ノウハウもありますのでご相談ください。

製本

目次・体裁記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・雑誌・絵本等、自分の本を作りたいとお考えの方。
各種マニュアル・広報・配布文書・名簿・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットでもお手伝いします。

総合印刷の 有限会社 栄光社

〒466-0035 名古屋市中区松島町三丁目4番地 2F
TEL: (052) 848-6148
FAX: (052) 848-6518
URL: <http://www2.ocn.ne.jp/~eik/>
E-mail: eikou@theia.ocn.ne.jp



株式会社基土木設計事務所は、

民間の社会資本整備に特化した設計会社として、より高い技術力とより迅速な行動力によって皆様の要望にお応えします。

土木技術ソリューショングループ 政秀塾の社会貢献

政秀塾



土木技術教育として

- ・技術検定対策
- ・本の出版 他

土木技術の伝承として

- ・土木技術講演会
- ①山岳トンネルの話
- ②環境の話 他

テーマ別研究として

- ・ジオメカニクス研究会

株式会社 基土木設計事務所

代表取締役 宮武 功 (土木 S36年卒)
常務取締役 廣村 修 (土木 S54年卒)
設計部 課長 庄司 弘久 (社会開発 H1年卒)

詳細は
会社QRより



60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座—材料、加工、設計、電気・電子、組込コンピュータ各種要素技術…
品質系全30講座—DRBFM、なぜなぜ分析など各種未然防止手法
マネジメント系全10講座—経営品質、もしどらリデザイン、プロジェクト管理…

『開発設計の教科書』(日経BP 2019出版)

WORLDTECH 株式会社 ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目28番12号 名古屋若宮ビル6階
TEL: 052-211-7861 E-mail: solutions@worldtech.co.jp

(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

44年の実績

登録料 33,000円(税込)

100%OFF



株式会社 ブライダル

お問い合わせ
(月曜定休)

0120-415-412

<http://www.bridal-vip.co.jp>

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄 3-7-13 コスモ栄ビル 9F
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 28F
豊橋支社 〒440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿無番地 豊橋駅ビルカルミア 4F

広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

学外

吉田奈央子	祖父江貴宏 (SC④)
佐藤 篤司 (A⑩)	成田 憲人 (SU⑩)
田川 正人 (M56)	
酒向 慎司 (I⑪)	廣瀬 光利 (E50)
杉本 英樹 (ZW⑥)	吉木 満 (W56)
安井 孝志 (D62)	高取 奨 (D⑥)
本多 沢雄 (ZY⑥)	野々山尚志 (Y63)
小坂井孝生 (K49)	大矢 泰正 (K52)
米谷 昭彦 (F60)	寺倉 修 (F50)
川村 大伸 (SS⑩)	入倉 則夫 (B47)
宿輪 宏典 (名古屋工業大学 企画広報課)	

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・広告主・関係官庁・各学会・大学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。

令和4年5月1日発行(隔月1日発行)

発行人 一般社団法人名古屋工業会 理事長 加川純一
電話(直通) 〇五二一七三二一〇七八〇 ファックス 〇五二一七三二一五二九八

振替口座番号 〇〇八三〇一八五八六四